

●全体

一般選抜（個別テスト）では、本学のアドミッションポリシーに基づき、入学後の各学科での学びにつながる基礎学力である「知識・技能」と、問題を多角的にとらえて、適切に判断し表現することができる「思考力・判断力・表現力等の能力」を重視した問題を出題している。

2026年度の各科目のそれぞれの出題意図は以下の通りである。

法学部、経営学部、健康栄養学部、スポーツ科学部

●「国語（近代以降の文章のみ）」

本科目において、「知識・技能」については主に漢字の知識や文脈に沿った語句の運用力等を問う問題を
出題し、また「思考力・判断力・表現力」については文章の読解力と論理的な文章表現力を問う問題を
出題した。入学する学部は様々であっても、大学ではそれぞれの専門分野の文献や資料を読み解い
ていくことになる。そのため国語の学力試験では、そのような専門的な文献や資料を読み解くための
力が身につけているかどうかをはかる必要がある。したがって高等学校卒業までに、漢字や語句の知
識やそれらの運用力、またさまざまな文章を読み解く力を身につけなければならない。

出題範囲は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）「現代の国語」「言語文化」の範囲とし、本学で
は論理的な文章読解力と文章表現力を重視しているため、「現代の国語」「言語文化」の教科書の内容と
同程度の難易度の文章をもとに「論理的な文章」を題材とし、両科目の教科書で学んだ知識と能力を用
いて正答を導き出すことができる程度の問題を出題した。

●「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ」

本科目では、今日の社会問題や多様な出来事に関する文章を適正に理解するためや、同意・反意などの
簡潔な英文や英会話の完成するための語彙・文法・表現・言語の機能などの知識と運用力を習得できて
いるか、またその背景にある多文化的な知識の有無を測定することで、総合的な英語運用能力を評価
する問題を出題した。また、英語の慣用句等の表現の理解とそのことについて日本語での表現が適正
か否かを測定することで、英語表現の知識の有無と、言語間の表現力を評価する問題も出題した。

●「数学Ⅰ、数学A」

本科目では、高校数学の数学Ⅰ・数学Aの範囲内で、数学の基礎学力が身につけているかを判定するこ
とを目的としている。一般的な教科書に基づく基礎的な知識を前提とし、計算力や論理的思考力を問
う問題を出題した。対象となる範囲は、数学Ⅰの「数と式」「二次関数」「図形と計量」「データの分析」、
および数学Aの「場合の数と確率」「図形の性質」の6分野である。

各分野の出題数は以下である。

- ①「数と式」：小問 5 題
- ②「二次関数」：小問 5 題
- ③「図形と計量」および「図形の性質」：小問 4 題
- ④「データの分析」：小問 3 題
- ⑤「場合の数と確率」：小問 3 題

合計 20 題 を出題し、各問題は、基礎的な内容の理解力や計算力を問うものに加え、応用力を試す問
題で構成されている。

●歴史総合・日本史探究

【一般的方針】

2026年度の「歴史総合・日本史探究」の問題は大問Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで構成され、全体で100点満点とする。

【大問Ⅰ】

「歴史総合・日本史探究」の大問Ⅰは、歴史総合型の問題であり、日本の近現代史に関するノートを提示し、それに関連する小問を出題している。各小問は、日本や世界の歴史的出来事についてのキーワードやその内容についての知識、その出来事の影響や背景、日本と世界の関わりなどについて、相互の関連性を重視した問題となっている。

【大問Ⅱ・Ⅲ】

「歴史総合・日本史探究」の大問Ⅱ・Ⅲは、日本史探究に相当する問題であり、入学後に必要な学びにつながる「知識・技能」および「思考力・判断力」を評価するため、日本の原始・古代から近代に至るまでの法や政治、経済、文化、国際関係に関する幅広い日本史の基礎的な知識と理解を評価する。いずれの問題も高校生が教科書をベースとして通常の学習をした場合に解答が可能な問題を基本とするが、教科書等で掲載されていない資料に基づいて高校の授業で学んだ内容の理解度を測る出題がなされることもある。2026年度は、日本の原始・古代、中世、近世、近代における法と政治、経済、文化、国際関係に関して、大問Ⅱはある範囲のテーマに関して長文を読み、それに関連する用語や基礎知識の理解を問う問題を出題した。出題テーマとしては、「古代の対外関係」、「江戸幕府の政治体制」、「奈良時代の政治」、「幕末の対外関係」、「中世の東アジアとの関係」に関する出題をおこなった。大問Ⅲはある範囲のテーマに関して一問一答形式で用語や基礎知識の理解を問う問題を出題した。出題テーマとしては、「江戸時代の学問・思想」、「中世の文化」、「中世の経済」、「古代の文化」、「江戸時代の諸残業の発展」に関する出題をおこなった。

●「歴史総合・世界史探究」

【一般的方針】

2026年度の「歴史総合・世界史探究」の問題は大問1、2、3で構成され、全体で100点満点とする。

【歴史総合部分】

「歴史総合・世界史探究」の大問1は、歴史総合型の問題であり、近現代史を対象とし、日本や世界の出来事やその背景、その後の影響、日本と世界の関わりなどについて出題した。また、大問1は、思考力・判断力を問う問題であり、提示された資料等を手がかりとして、学んだ知識と組み合わせて解答を導く問題、歴史の流れの理解や影響関係を前提として解答を考える問題を出題した。

【世界史探究部分】

「歴史総合・世界史探究」の大問Ⅱ・Ⅲは世界史探究を基礎とした問題である。大問Ⅱでは、課題文を受験生に提示して、空所を補充して、当該、地域・時代の概要の理解度を確認すると同時に、歴史的文脈を再確認することを意図した。また、課題文の下線部についてより深い理解ができていないかを確認する問題を出題した。なお、出題テーマは、各地域の文化・社会の発展の基礎となる時期を選んだ。つまり、多民族社会である中国の揺籃期である後漢の成立から隋の成立、ヨーロッパ近世・近代の出発点となる宗教改革とルネサンス、近現代ヨーロッパと中東の境界で

つづく民族・宗教の問題の起点としてオスマン帝国史である。大問Ⅲは、一問一答の形式をとることにより、地域・時代についての基礎的な知識を確認している。やはり、各地域の各テーマの発展・変革の出発点となるテーマから出題している。

●「公共、政治・経済」

「公共、政治・経済」では、政治や法などの社会の仕組みや経済に関する基本的理解の有無や、日本および世界における社会問題に関する知識を評価する。いずれの問題も高校生が教科書をベースとして通常の学習をした場合に解答が可能な問題を基本とするが、一部教科書に記載のない時事問題を出題する場合がある。時事問題を出題する場合には、近時ニュースになった話題に関する問題など、一般的に認知されている事柄に関する問題としている。

2026年度の「政治・経済」の問題は大問Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで構成され、全体で100点満点とする。大問Ⅰは、近時話題となった時事的問題に関する会話文を読み、そこに含まれるキーワードや基礎的知識に関して、その関連性を重視した問題を出題している。大問Ⅱは、政治や法、経済に関するまとまった長文を読み、その内容に関連する用語や知識、理解を問うものとなっている。2026年度は、「地方自治」、「労働問題」、「情報通信産業」に関する出題をおこなった。大問Ⅲは、ある範囲のテーマに関して、一問一答形式でその基礎用語や基本知識に関する問題を出題している。2026年度のテーマは、「気候変動」、「内閣と行政」、「財政問題」とした。

●化学基礎

入学後に各学部の講義を理解するために必要な基礎的な学力を有するものを選抜する。出題は、高等学校の化学基礎で学習する内容の中で基礎的な内容を中心とし、稀に発展的内容も含まれており、実験内容や実験結果を読み解く問題も出題する。これは、科学的な視点から考えることができるか、論理的な思考ができるかを判断することを目的としている。

出題範囲は、化学基礎の内容で、①化学と人間生活（化学と物質）、②物質の構成（物質の構成粒子、物質と化学結合）、③物質の変化とその利用（物質と化学反応式、化学反応、化学が拓く世界）の3つの範囲である。

●生物基礎

入学後に各学部の講義を理解するために必要な基礎的な学力を有するものを選抜する。出題は、高等学校の生物基礎で学習する内容の中で基礎的な内容を中心とし、稀に発展的内容も含まれている。また、与えられた資料やデータから自ら思考・解析する能力を有するものを選抜するために実験結果を示した表やグラフを読み解く問題を出題している。これは、科学的な視点から考えることができるか、論理的な思考ができるかを判断することを目的としている。

出題範囲は、生物基礎の内容で、①生物と遺伝子（生物の特徴、遺伝子とその働き）、②生物の体内環境の維持（体内環境の維持の仕組み、免疫）、③生物の多様性と生態系（植生の多様性と分布、生態系とその保全）の3つの範囲である。

国際リベラルアーツ学部

●英語学力試験Ⅰ

「英語学力試験Ⅰ」は、国際社会や日本の課題、社会的な現象、及び個人的価値観などに関する英語の設問を読み、自分の考えを600字以上の日本語で述べる試験である。2026年度は、「人工知能（AI）」

が普及した現在社会における変革と問題点」について出題し、英文読解力、日本語の文章構成力、語彙・表現の適切性、批判的な思考力等を評価した。

●英語学力試験Ⅱ

「英語学力試験Ⅱ」は、国際社会や日本の課題、社会的な現象、及び個人的な価値観などに関する英語の設問を読み、自分の考えを 250 語以上の英語で述べる試験である。2026 年度は、「現代社会において歴史の役割や学ぶ意義」について出題し、英文読解力、英語の文章構成力、文法、語彙・表現の適切性、批判的な思考力等を評価した。